

職員の声

ケアワーカー 吉田 実央



私は、小学生の頃から介護士になるのが夢でした。高校で介護について学び、高齢者施設で実習したことで自分には介護の道に進むことが合っていると感じました。職場見学会で行った高齢者施設を見て、施設内の雰囲気や明るいことや職員と入居者様との関係がとても暖かく感じ、自分も「この職場で働きたい」と強く思いました。先輩方のご指導を受け、最近は自分から動けるようになってきました。まだまだ自分の力不足を感じることもありますが、入居者様の笑顔を見た時は「この仕事を選んで良かった」と、とてもやりがいを感じます。今の目標は、「一人ひとりの気持ちを理解し、入居者様が必要としているケアができるようになること」と、「介護福祉士の資格を取得すること」です。1年後、今より介護士としての仕事ができるよう、これから多くの事を学び成長していきたいです。

看護師 金田 真由美



私は幸生会に入職して14年目になります。長年介護に携わってきましたが、3年前「仕事をしながら看護学校に通ってみたいか？」と声をかけて頂きました。最初は悩みましたが、夫に背中を押され、まずは入試を受け、挑戦することに決めました。仕事と学業の両立は簡単にできるものではありませんでしたが、学校で学びながら職場の看護師の先輩方に相談できる、このような環境は私にとって心強いものでした。同僚からも応援してもらい、入居者様やそのご家族にまで声を掛けてもらい、忙しい毎日ではありましたが、今思うとこんなに応援して頂いて感謝の気持ちで一杯になります。幸生会は子育てもしやすく私のように学校に通いながらの勤務も可能な職場です。入職したころとは比べられない程の職員人数となり、私も驚いております。こういう場所で皆さんと一緒に働いてみませんか。

保育士 佐藤 瞳



私の働く新田すいせん保育所は、0歳児から学童(小学校3年生)までのお子さんが通っています。保育所では年齢ごとに子どもの発達や興味に合わせた生活や遊びの環境を整え活動します。子ども達のかわいい姿や成長を一番近くで見られ、やりがいを感じます。保護者の方が安心してお子さんを預け、子ども達が明日も来たいと思えるような保育を目指しています。

生活支援員 小野寺 貴紀



私は、幼いころから父親の仕事を見てきたことで、福祉の仕事に興味を持ち始めました。大学に入るまで「福祉の仕事がしたい」という漠然とした夢でしたが、大学時代に障害者のグループホームでアルバイトをしたことがきっかけとなり、障害分野で働きたいと思うようになりました。就職先を探している時に「幸生会」を見つけました。法人内に3部門(高齢・障害・児童)ある事に魅力を感じ、施設見学に行ってみると、施設の温かみや職員の生き生きと働く姿を見て、ここで働きたいと思い「幸生会」を選びました。

入職した当時は利用者とのコミュニケーションを取ることで精一杯でしたが、時間が経つにつれて利用者だけへの支援ではなく、家族への支援でもあるのだと改めて気付くことができました。このような気付きができたのも、1つ1つ丁寧に仕事を教えてくれたり、悩んだ時にはアドバイスをくれる先輩方がいたからです。まだまだ分からないこともありますが、先輩方の力を借りながら、これからも利用者・家族に寄り添える支援員である為に頑張っていきます。